



広島県安芸高田市 生桑振興会

地域で暮らしを支える ～過疎地域における自主・自立的な地域経営の実現～



平成24年1月、生桑サービスステーション(ガソリンスタンドと店舗の複合施設)が開店。

事例の概要

生桑振興会は平成14年に誇りと自信の持てる地域づくりを目的に設立され、以来、防犯・防災活動や地域交流のイベントなどを通して、地域の課題に対応した各種の取組を行ってきた。

そのような中で、これまで農協のOBが運営していた地域住民の生活の要であるガソリンスタンドと日用品店舗が、地下タンクの老朽化により閉鎖されることとなったが、生桑振興会が中心となって施設の更新に取り組み、平成24年1月に地域のサービス拠点として、再スタートした。

給油のみならず、店舗やサロンスペース等の生活関連機能を併設した複合拠点として、地域住民の生活を守っている。また、生活必需品配送サービスなど高齢者等の買い物支援なども計画しており、地域の安心を提供する取組を進めている。



新設したガソリンスタンド。灯油配送サービス、除雪者・農業用機械への給油など、暮らしに欠かすことのできない燃料供給拠点として住民の期待は大きい。(写真中央は、生桑振興会会長)



「新鮮な魚を食べたい。」そんな要望に応え、週末には広島市内の市場から新鮮な魚が届く。



県知事が1日店長としてレジカウンターに。地元自治体をはじめ、関係機関の支えによって生桑地域の暮らしが守られている。



「ふれあい市」の施設内にはサロンスペースを設けており、地域の住民がここで集まって話をするなど、地域の憩いの場となっている。

評価のポイント

生桑振興会は、広島県の高田郡6町が合併して誕生した安芸高田市の北西部、旧美土里町の中の地域振興組織である。平成14年に結成され、地域福祉・広報・防犯防災活動に取り組んできた。

生桑地域には農協のガソリンスタンドと日用品店舗があったが、平成12年に撤退したため、農協のOBが「生桑ふれあい市」を結成、これを引き継いで営業していた。しかし、ガソリンのタンクの老朽化に伴う更新には多額の費用が必要となったため、平成24年2月末の閉鎖を表明していた。

振興会は、この状況について住民と協議するものの、具体的な対応策に向けての話はなかなかまとまらなかったが、平成23年5月に経済産業省の補助金の存在を知り、振興会の基金などを活用し、平成23年6月に振興会が、ガソリンスタンドと店舗の施設整備をすることが決定された。

平成24年1月に地域住民が経営者となってガソリンスタンドと店舗の複合施設である「ふれあい市」を開店した。「ふれあい市」では、ガソリンのみならず、雪国の山間に不可欠な灯油の供給も行っている。灯油の配達が高齢者に喜ばれ、同時に見守りの役目も果たしている。また、店舗では定期的に鮮魚の販売なども行い、山間地である地域の住民に喜ばれている。このように、「ふれあい市」は、地域住民の生活を支えており、また「地域のために」をいかに持続させるかについての熱意が感じられる。

本事例においては、このような点が評価された。

広島県 安芸高田市(あきたかたし)

【団体名】 生桑振興会
【所在地】 〒731-0702 広島県安芸高田市美土里町桑田277番地
【連絡先】 TEL:0826-54-1660

【交通のご案内】

- 自動車** ●中国自動車道高田ICから県道6号吉田邑南線経由20分
- 鉄道** ●JR芸備線向原駅から自動車まで40分
- 飛行機** ●広島空港からリムジンバスにて広島バスセンターまで50分
→広島バスセンターから高速バス1時間10分(「美土里バス停」下車)
●広島空港から自動車まで1時間40分



国勢調査人口(単位:人)

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
49,715	36,984	34,439	33,096	31,487

人口増減率(単位:%)

H17/S35	H17/S55	H17/H12	H22/H17
-33.4	-10.5	-3.9	-4.9

高齢者・若年者比率(H22年)(単位:%)

高齢者比率	若年者比率
35.2	11.3